

**PHILIPS**

Healthcare



## 日本心臓血管麻酔学会第29回学術大会 ランチョンセミナー 6

日時：2024年 9月22日（日） 12:10～13:10

会場：第2会場 広島コンベンションホール 2F メインホール 2B

### AIMS の進化と役割：心臓血管麻酔における未来

座長：岡本 浩嗣先生（北里大学医学部 麻酔科学）

演者：讃岐 美智義先生（NHO呉医療センター 麻酔科）

ランチョンセミナー6は整理券配布所にて整理券を配布致します。

日時：2024年9月22日（日） 8:30～11:30

配布場所：広島コンベンションホール 1階 エントランスホール

※整理券はセミナー開始と同時に無効となります

# セミナーのご紹介

## AIMSの進化と役割：心臓血管麻酔における未来

演者：讃岐 美智義先生（NHO呉医療センター 麻酔科）

### はじめに

Anesthesia Information Management System (AIMS)は、自動麻酔記録装置から進化し、現代の麻酔科医のニーズに応えるために設計されたシステムです。手術中の麻酔管理を効率化し、患者アウトカムの向上を目指しています。

### AIMSのハイブリッドアプローチ

AIMSは、手動入力と自動記録の両方をサポートしています。麻酔科医や看護師が入力する主観的評価や観察結果と、デバイスから取得するリアルタイムデータ（心拍数、血圧、酸素飽和度など）を統合することで、高精度で一貫性のある記録が可能となります。ユーザーが手入力記録とリアルタイム自動記録の役割の違いを理解することが進化の第一歩です。

### 詳細なヘモダイナミクスモニタリング

心臓手術中には、動脈圧、中心静脈圧、心拍出量などの詳細なヘモダイナミクスデータが不可欠です。

AIMSはこれらのデータを秒単位で正確に記録し、グラフで視覚化します。これにより、術中の状態把握が容易になり、術後レビューや法的文書作成にも貢献します。

### 心臓血管麻酔に特化した機能

AIMSは、心臓手術における人工心肺の詳細な記録と各手術段階でのタイムアウト機能をサポートし、安全性を確保します。また、経食道心エコー(TEE)の経時記録は、術後の報告書作成やフィードバックにも役立ちます。

### 全国的なデータ共有と解析

AIMSは日本麻酔科学会のPIMSと連携し、全国的なデータ共有と解析を可能にします。これにより、診療の質の向上に寄与し、麻酔科医自身のパフォーマンス評価と改善点の発見に繋がります。資格認定に留まらず、AIMSとPIMSの連携を強化することで、心臓血管麻酔の質向上を目指します。

### 結論と今後の展望

AIMSの心臓血管麻酔における機能の検討は、医療の質向上に直結する重要なテーマです。今後も継続的な研究と改善が求められます。本セミナーでは、AIMSの心臓血管麻酔における役割とその未来について皆様と共に考えたいと思います。